



1 コマンド

この章では、Iで始まるシステム管理コマンドについて説明します。

ip access-list (セッション)

コンフィギュレーション セッション内に IPv4 アクセス コントロール リスト (ACL) を作成するには、**ip access-list** コマンドを使用します。コンフィギュレーション セッションから ACL を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ip access-list *ACL-name*

no ip access-list *ACL-name*

構文の説明

<i>ACL-name</i>	IPv4 ACL の名前。名前には、最大 64 文字の英数字を指定できます。空白文字または引用符を含めることはできません。
-----------------	---

コマンドデフォルト

デフォルトでは、IPv4 ACL は定義されません。

コマンド モード

グローバル セッション コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、コンフィギュレーション セッションに対し IPv4 ACL を作成する例を示します。

```
switch# configure session MySession1
switch(config-s)# ip access-list myACL
switch(config-s-acl)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
configure session	コンフィギュレーション セッションを作成します。
deny	IPv4 ACL に拒否 (deny) ルールを設定します。
permit	IPv4 ACL に許可 (permit) ルールを設定します。
show configuration session	セッションの内容を表示します。

ip dns source-interface

ドメイン ネーム サーバ (DNS) ドメイン ルックアップ用の送信元インターフェイスを設定するには、**ip dns source-interface** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
ip dns source-interface {ethernet slot/port | loopback intf-num} [vrf {vrf-name | default | management}]
```

```
no ip dns source-interface {ethernet slot/port | loopback intf-num} [vrf {vrf-name | default | management}]
```

構文の説明

ethernet <i>slot/port</i>	イーサネット インターフェイスを送信元インターフェイスとして使用するように指定します。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
loopback <i>intf-num</i>	ループバック インターフェイスを送信元インターフェイスとして使用するように指定します。値の範囲は 0 ~ 1023 です。
vrf	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティングおよび転送) インスタンスを指定します。
<i>vrf-name</i>	(任意) VRF 名です。名前は最大 32 文字で、大文字と小文字が区別されません。
default	(任意) デフォルトの VRF を指定します。
management	(任意) 管理 VRF を指定します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、DNS ルックアップの送信元インターフェイスとして、イーサネット インターフェイスを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# ip dns source-interface ethernet 1/5
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip domain-lookup	DNS ルックアップ機能をイネーブルにします。
show ip dns source-interface	DNS 送信元インターフェイスに関する情報を表示します。

ip domain-list

IP ドメイン リストを設定するには、**ip domain-list** コマンドを使用します。IP ドメイン リストをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ip domain-list *domain-name* [*use-vrf name*]

no ip domain-list *domain-name* [*use-vrf name*]

構文の説明	domain-list	IP ドメイン リストのドメイン名を指定します。63 文字以内の英数字のストリング（大文字と小文字を区別）で指定します。
	use-vrf name	（任意）IP ドメイン リストのドメイン名の解決に使用する Virtual Routing and Forwarding（VRF; 仮想ルーティング/転送）を指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

コマンドデフォルト なし

コマンドモード グローバル コンフィギュレーション モード
VRF コンテキスト コンフィギュレーション モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン **ip domain-list** コマンドは、デバイス用の追加のドメイン名を設定するために使用します。**vrf context** コマンドは、VRF コンテキスト モードに入って、特定の VRF 用の追加のドメイン名を設定するために使用します。

例 次に、デフォルト VRF の IP ドメイン リストを設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# ip domain-list Mysite.com
```

次に、管理 VRF の IP ドメイン リストを設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# vrf context management
switch(config-vrf)# ip domain-list Mysite.com
```

次に、デフォルト VRF を介してドメイン名を解決できない場合に管理 VRF をバックアップとして使用するよう、デフォルト VRF の IP ドメイン リストを設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# vrf context management
switch(config-vrf)# exit
switch(config)# ip domain-name Mysite.com use-vrf management
switch(config)# ip name-server 192.0.2.1
switch(config)# ip domain-list Mysite2.com
```

関連コマンド

コマンド	説明
show hosts	IP ドメイン名の設定に関する情報を表示します。

ip domain-lookup

Domain Name Server (DNS; ドメイン ネーム サーバ) の検索機能をイネーブルにするには、**ip domain-lookup** コマンドを使用します。この機能をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ip domain-lookup

no ip domain-lookup

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

ip domain-lookup コマンドは、DNS をイネーブルにするために使用します。

例

次に、DNS サーバ検索機能を設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# vrf context management
switch(config-vrf)# exit
switch(config)# ip domain-name Mysite.com use-vrf management
switch(config)# ip name-server 192.0.2.1
switch(config)# ip domain-lookup
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show hosts	DNS に関する情報を表示します。

ip domain-name

ドメイン名を設定するには、**ip domain-name** コマンドを使用します。ドメイン名を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ip domain-name *domain-name* [**use-vrf** *name*]

no ip domain-name *domain-name* [**use-vrf** *name*]

構文の説明

<i>domain-name</i>	ドメイン名。63 文字以内の英数字のストリング（大文字と小文字を区別）で指定します。
use-vrf <i>name</i>	（任意）ドメイン名の解決に使用される VRF を指定します。 name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード
VRF コンテキスト コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

ip domain-name コマンドは、デバイス用のドメイン名を設定するために使用します。**vrf context** コマンドは、VRF コンテキスト モードに入って、特定の VRF 用のドメイン モナステリを設定するために使用します。

例

次に、デフォルト VRF の IP ドメイン名を設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# ip domain-name Mysite.com
switch(config)#
```

次に、管理 VRF の IP ドメイン名を設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# vrf context management
switch(config-vrf)# ip domain-name Mysite.com
switch(config-vrf)#
```

次に、デフォルト VRF を介してドメイン名を解決できない場合に管理 VRF をバックアップとして使用するよう、デフォルト VRF の IP ドメイン名を設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# vrf context management
switch(config-vrf)# exit
switch(config)# ip domain-name Mysite.com use-vrf management
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip domain-list	IP ドメイン リストを設定します。
ip domain-lookup	ドメイン ネーム サーバ (DNS) ルックアップ機能をイネーブルにします。
show hosts	IP ドメイン名の設定に関する情報を表示します。

ip host

ドメイン ネーム システム (DNS) のホスト名キャッシュ内でスタティック ホスト名/アドレス マッピングを定義するには、**ip host** コマンドを使用します。ホスト名/アドレス マッピングを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ip host name address1 [address2... address6]

no ip host name address1 [address2... address6]

構文の説明

<i>name</i>	ホスト名。 <i>name</i> は、大文字と小文字が区別される 80 文字以下の任意の英数字文字列にできます。
<i>address1</i>	x.x.x.x 形式の IPv4 アドレス。
<i>address2 ...address6</i>	(任意) x.x.x.x 形式の追加の IPv4 アドレス (最大 5 個)。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

ip host コマンドは、スタティック ホスト名を DNS に追加するために使用します。

例

次に、スタティック ホスト名の設定例を示します。

```
switch(config)# ip host mycompany.com 192.0.2.1
```

関連コマンド

コマンド	説明
show hosts	IP ドメイン名の設定に関する情報を表示します。

ip name-server

ネーム サーバを設定するには、**ip name-server** コマンドを使用します。この機能をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ip name-server ip-address [use-vrf name]

no ip name-server ip-address [use-vrf name]

構文の説明	
ip-address	ネーム サーバの IP アドレス。
use-vrf name	(任意) ネーム サーバに到達するために使用する VRF を指定します。name には最大 32 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されません。

コマンドデフォルト なし

コマンドモード グローバル コンフィギュレーション モード
VRF コンテキスト コンフィギュレーション モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン **ip name-server** コマンドは、ネーム サーバをデバイス用に設定するために使用します。**vrf context** コマンドは、VRF コンテキスト モードに入って、特定の VRF 用のドメイン名を設定するために使用します。

例 次に、デフォルト VRF の IP ネーム サーバを設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# vrf context management
switch(config-vrf)# exit
switch(config)# ip domain-name Mysite.com use-vrf management
switch(config)# ip name-server 192.0.2.1
```

次に、管理 VRF の IP ネーム サーバを設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# vrf context management
switch(config-vrf)# ip name-server 192.0.2.1
```

次に、IP ネーム サーバにデフォルト VRF 経由で到達できない場合にバックアップとして管理 VRF を使用するようにデフォルト VRF の IP ネーム サーバを設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# vrf context management
switch(config-vrf)# exit
switch(config)# ip domain-name Mysite.com use-vrf management
```

```
switch(config)# ip name-server 192.0.2.1 use-vrf management
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip domain-list	ドメインのリストを定義します。
ip domain lookup	DNS ベースのホスト名からアドレスへの変換をイネーブルにします。
show hosts	IP ドメイン名の設定に関する情報を表示します。
vrf context	仮想ルーティング/転送 (VRF) インスタンスを作成します。

ip port access-group (セッション)

IPv4 アクセス コントロール リスト (ACL) をインターフェイスのポート ACL として適用するには、**ip port access-group** コマンドを使用します。インターフェイスから IPv4 ACL を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
ip port access-group access-list-name {in | out}
```

```
no ip port access-group access-list-name {in | out}
```

構文の説明

<i>access-list-name</i>	IPv4 ACL の名前。名前では最大 64 文字までの英数字を使用でき、大文字と小文字が区別されます。
in	ACL を着信トラフィックに適用するように指定します。
out	ACL を発信トラフィックに適用するように指定します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

セッション インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、イーサネット インターフェイス 1/2 に対して、**ip-acl-01** という IPv4 ACL をポート ACL として適用する例を示します。

```
switch# configure session MySession1
switch(config-s)# interface ethernet 1/2
switch(config-s-if)# ip port access-group ip-acl-01 in
switch(config-s-if)#
```

次に、イーサネット インターフェイス 1/2 から、**ip-acl-01** という IPv4 ACL を削除する例を示します。

```
switch(config-s)# interface ethernet 1/2
switch(config-s-if)# no ip port access-group ip-acl-01 in
switch(config-s-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show access-lists	すべての ACL を表示します。
show configuration session	セッションの内容を表示します。

